

よこはまポジティブエイジング キックオフイベントレポート

令和5年度横浜市就労的活動支援モデル事業シニア×いきがいマッチング事業『よこはまポジティブエイジング』のキックオフイベントが9月1日に横浜市役所1階スペースA・Bで開催されました。

冒頭に横浜市健康福祉局地域包括ケア推進課より事業開始のご挨拶と本事業の説明を行いました。事業の目的は「シニア世代の新たな社会参加のきっかけづくり」であり、社会参加することで介護予防や地域の生活支援体制の充実につながることを、そのための選択肢はいろいろあるが、その一つとしてこの活動を楽しんでいただきたいことをお伝えいたしました。

講演は東京都健康長寿医療センター研究所副所長 藤原佳典氏より『傍を楽にする、三方よしの地域づくり』として、高齢者となっても社会に役割を持って参加することの重要性と実際に介護の現場で活動するアクティブシニアの事例や世代間交流の重要性についてご説明いただきました。

ポジティブエイジングの活動は介護予防のためではなく、楽しみや生きがいを見つけることが自然に介護予防をもたらすとご教示いただきました。

アクティブシニア実践者の伊藤氏にもご登壇いただき、ご自身の経歴や活動の状況をお話いただきました。活動中の横浜市の団体では、小さいお子さんの見守りをしていて、子育てママに感謝されつつ、お子さんのお世話を楽しんでいるとのことでした。

最後に本事業の実施団体である関内イノベーションイニシアティブ株式会社の治田を交えミニトークセッションを行い、藤原氏と伊藤氏より「志を持つかたに手伝って欲しいと思っている団体はたくさんある。その扉を叩いてみることで世界が広がる」と活動したいシニアへのエールを送っていただきました。



↑横浜市担当者からの事業説明



↑藤原佳典氏の講義の様子



←アクティブシニアの実践者である伊藤氏にご登壇いただき、ミニトークも開催